

【上部消化管（食道・胃・十二指腸）内視鏡検査（胃カメラ）のご説明】

1. 検査の目的

当クリニックでは、予防医学を目的として検査を実施しております。そのため、異常所見の有無を判定しますが、組織を採取する『生検』は行っておりません。一次検査の結果、二次精密検査が必要な場合は、改めて医療機関を受診していただく事になりますのでご了承ください。

2. 検査前日

軽めの夕食を夜9時までに済ませてください。それ以降、お茶や水分は摂っていただいても結構ですが、絶食してください。（アルコールも含む）

3. 検査当日

朝、コップ1杯程度の水は摂っていただいても結構ですが、検査の2時間前までです。検査終了まで喫煙しないでください。

血圧の薬を飲んでいる方は、起床時に服用してください。検査当日の糖尿病の治療薬（内服薬およびインスリン）の使用法については主治医に必ず確認し、その指示に従ってください。なお、検査前の血圧が高い場合、事故防止のため、検査を中止する場合があります。また、裏面の問診で抗血小板薬・抗凝固薬等（血液をさらさらにする薬）を内服中の方は、事前に主治医の許可が必要です。

4. 検査の方法

当クリニックでは、細い内視鏡（直径6mm）を採用しており、内視鏡の挿入方法は経鼻法または経口法どちらの術式でも行うことができます。なお、検査時の静脈麻酔は行っておりません。内視鏡挿入時に咽頭反射が強い場合、検査を中止する場合があります。

（経鼻法）内視鏡を鼻から挿入して食道および胃・十二指腸の粘膜を観察します。のどのところで、吐き気を催す刺激が少ない方法ですが、鼻出血が出ることがあります。（ほとんど数分で止まります）

（経口法）経鼻法を原則としていますが、鼻腔が狭いなど挿入が困難な場合、口から挿入する方法やバリウムによるエックス線検査に変更することがあります。初めから経口法をご希望の方は、当日その旨をお知らせください。

5. 検査に用いる薬剤

（前処置）胃の中をきれいにする液体の薬を飲み、次に鼻の通りを良くするための血管収縮薬を鼻に噴霧します。ベッドに横になり、鼻腔に麻酔薬を注入し局所麻酔を行います。麻酔薬を塗ったチューブを挿入する場合もあります。さらに、のども麻酔薬を噴霧する場合があります。

（検査中）胃粘膜の泡を消すため泡の除去剤を使用することがあります。胃粘膜面をよく見えるようにするために、粘膜染色液を噴霧することがあります。

6. 偶発症

適切に検査しても重篤な合併症として出血や穿孔（上部消化管に穴が開くこと）が発生することがあります。これらの頻度は日本消化器内視鏡学会の報告（2003年から2007年までの5年間）では0.005%程度、死亡率は0.00019%でした。検査前からあった病気（既往症）が悪化することがあります。万一、重篤な偶発症が発生した場合は、入院、手術、輸血などが必要となることがあるため、これらの処置が可能な医療機関へ転院いただきます。偶発症の対応は通常診療として保険診療で行われます。経鼻法による場合、最も多いのは鼻出血です。経口法による場合は、のどの奥まで麻酔されないと吐き気を催すことがあります。検査後、のどに軽い疼痛や違和感が残ることがあります。

頻度は少ないですが、副作用として麻酔薬によるアナフィラキシーショックがあります。手術や検査、歯科の麻酔で気分が悪くなった経験のある方は、基本的に検査を中止しております。また、染色用の色素液によるアレルギー反応が起きることもあります。体質的にアレルギー反応が出やすい方は、事前にお知らせください。その他の副作用として、麻酔薬による眠気、めまいが現れる場合があります。 裏面へ⇒

7. 検査時間

検査時間は5～10分程で終了します。検査終了後、のどや鼻の違和感は1時間ほどで元に戻りますが、それまで飲食は避けてください。また、仕事や車の運転など普通の生活に支障ありませんが、体調の変化など、気になることがありましたらKKCまでご連絡ください。

※検査後30分は鼻をかむと出血することがあります。

8. キャンセル

健診当日から14日前までに検査をキャンセルされた場合、キャンセル料【5,500円 税込】頂戴いたします。ただし、健診当日医師からの指示や体調不良は除きます。

《注意事項》

- ◆ 血液をさらさらにする薬（抗血小板薬・抗凝固薬等）を内服中の方は、事前に主治医の許可が必要な場合があります。
- ◆ 当日おくすり手帳を持参ください。
- ◆ 心臓や血圧の薬を飲んでいる方は、起床時に服用してください。
- ◆ 検査前の血圧が高い場合、事故防止のため、検査を中止する場合があります。
- ◆ 鼻腔が狭いなど挿入が困難な場合、口から挿入することがあります。
- ◆ 体質的にアレルギー反応が出やすい方は、事前にお申し出ください。
- ◆ 妊娠・授乳中の方は使用薬剤の安全性が確立されていないため、受診できない場合があります。
- ◆ ベッドの耐荷重（135 kg）を超えて検査することが出来ません。事前にご相談ください。
- ◆ 検査後、鼻出血やのど（咽頭部）に軽い疼痛や違和感が残ることがあります。
- ◆ 次に該当する方は、事前に主治医に上部内視鏡検査を受けることについて相談し、受診の許可を得てください。
 - ・ 脳梗塞や心疾患予防のため、血液をさらさらにする薬を服用している方。
イグザレルト、エリキュース、プラザキサ、ワーファリンなどの抗凝固剤
ブラビックス、パファリン、バイアスピリン、エパデル、エフィエントなどの抗血小板薬
 - ・ 次の疾患にて治療中の方
心疾患・不整脈 高血圧 喘息 COPD 脳梗塞 神経変性疾患（パーキンソン病など）
頸椎疾患 糖尿病（内服薬・インスリン） 出血傾向（血友病等）

質問記入欄（疑問など、ご質問を以下にご記入ください）

上部内視鏡検査のご説明・注意事項についてご理解・納得いただき、検査を受けることに同意された方はご署名をお願いいたします。

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

自 署
(ご本人様) _____

医師使用欄

アレルギー反応既往歴（あり・なし）
検査の内容をご了承いただいたことを確認しました。
KKC ウエルネス（ _____ ）健診クリニック

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

医師 _____

上部消化管内視鏡検査の問診票はWE日問診となります。
同封されております健康診断受診のご案内をご確認いただき、事前の問診入力をお願いします。
(健診当日にクリニックにて入力いただくことも可能です。)